

梨木建夫君 ゴルフ遠征の皆様方には大変お世話いただきました。感謝申し上げます。又、本人の卓話者「小林満」氏のお話しに多に期待いたします。

小林満君 昨日と一昨日ゴルフ同好会で遠征ゴルフに行きました。バスの中でカンパしたお金が少々余りましたのでBOXへ。

イライラボックス：	4日現在累計	5,000円
-----------	--------	--------

卓話：「趣味」小林 満さん



みなさん、どうもごめんください。卓話の番を与えていただきまして大変嬉しくもあり、悲しくもあり、昨日、一昨日と先程もコメントにもありましたようにゴルフ同好会で厳選のゴルフに連れて行って頂きました。その中、あるいは到着したゴルフのプレイ中にも拘らず、次週の例会は君の卓話だぞ、ということで相当のプレッシャーを掛けて頂きまして、御陰様で二日二夜を寝もやらず、今日を迎えたようなわけでございます。時間的な部分が二十分とか三十分とかというようなことございまして、私は十分もあれば充分でありますという風に、

実はお願いをしたわけではありますが、

タイトルは、今井先生から趣味ということでどうだろうという風なご提案を頂きまして、但し、何でもいという話をして下さいました。そんなことで講釈とか、あるいは字を書くことが大変苦手でございまして、今あらかじめ申し上げておきますが、実は原稿をお出しすることが出来ない状況でございますので、もしよかったらイラストか何かで、サッと書いて下さればそれで用件は足りると思いますし、また、私はそういう風な形で証拠を残すこと自体に若干の疑問を感じておりますので、どうぞご理解頂きたいと思います。

趣味もそう沢山、私は持っているわけではないんですけど、やはり丁度生まれてこのかた人生と、若干の関連もあるようですので、その辺の部分をちょっとお話をさせて頂きまして、私の人と形を分かってほしいと言えば、非常に格好良いんですが、それであいつは脳天気なんだなという位の程度のご理解を頂ければ大変有り難いという事でございます。

私は、昭和二十四年の二月四日に母の実家でありますところの、三条市の西中というところで生を受けました。従って、今日は三月四日でございますので、祥月命日みたいな、いや、祥月命日じゃなくて、月こそ違い、命日みたいな気持ちもしているわけではありますが、満で丁度四十八歳と丁度一カ月が今日であります。

実は、私の弟が二人現在おりますが、本当は三名おりまして、私は男兄弟四人でございました。ところが、私が生まれまして何カ月後位に実は、私は知らぬこととは言いながら母は再度、妊娠した様でございます。

そんなことで、私は母の実家で随分長く、生まれてからずっとおったわけでございます。当時は、やいやの亡くなった親父さんの責任が半分以上あるわけでありますが、御袋さんはすぐ妊娠したということを告げられなかったそうでございまして、私に妊娠中のおっぱいを飲ませましたので、それが体内で副作用的なものを起こした様に聞いております。私の弟達は、私の下二人とも170cm以上、80kg位の体重がございまして、私は166cm、目方は70kgということでございます。だから、そういうことが一つの原因になっておりまして、私は生まれてからそれが栄養にならないで、逆にどんどん痩せていくもんですから、家に連れてきた方がいいということで、私をおぶって、連れてきたそうであります。その帰り道、小山医院さんがありまして、そちらに即お世話になって、ペニシリンというものがあつた為に、一命を取り止めて今日に至っているという風に聞かされました。それで、その母の実家、西中にずっとおりましたもんですから、そういう意味では全部、周りが田んぼでございまして、私の現在の住宅も周りが田んぼでありますけど、やはりその魚釣りの部分をその幼少のみぎりで、お坊ちゃんと呼ばれていた自分は近所の小川で魚を釣るというのが趣味の一つでありました。小学校の私が二年生の時だったと思いますけど、三番目の弟が五歳でございまして、この子にたまたま大掃除をさせておいた時に、一本の釣り竿が出てまいりまして、そここのところにいわゆる、水系と言いますか、みち系と言うんですか、テングスというやつでありますか、それを実は私が学校に行く前に結びつけたもので、それを持って近所の貯水地の所に魚釣りに行って落っこって亡くなったというわけがございまして、私はその後、釣りというものを一回もしたことがありません。非常に、そういう意味では、責任的な部分を今でも感じておりますし、下の弟達がトロリングみたいなものをやりたいから船買わねーか、と言うような話もしたことがありますが、おめえ達がやりてーば買って来いばいいこっちゃ、というようにもんで私は全々そういう分では興味を持っておりません。そんな事で、幼少のみぎりは釣りもやったんですけれども、今、釣りという趣味は今のところ持ち合わせてないというのが実態であります。

そして、家がやはり貧しかったもんでありますから、竹スキーという様なスキーで家の近くの土手で滑ったりしてましたけど、私らの同級生は、みんなスキーを買ってもらって、スキー場に行ったという人が沢山ありますが、私は十八、九歳になって働き始めてからスキーを月賦で買いました、浦佐スキー場につれて行って頂きました。

今でも、鮮明に覚えておりますけど、とっても怖くてリフトに乗ってそのまま降りて来た覚えがあります。それから、しばらくスキーをやることなかったんですけど、人に誘って頂いたりしまして、近頃では、指導員、又は一級の腕前は、自分ではあると勝手に思っておりますけど、子ども達も大きくなりましたので、近頃ではスキー場に行くケースも少なくなりまして友達もあんまりやらないものですから、そういう意味ではスキーも1シーズンに、二、三度は行きますけど、しょっちゅう行くということはありません。

近頃では、ゴルフで、このゴルフのクラブも十八年位前に、これは今度、月賦じゃなくてです